



第111号

社会福祉法人
 ロザリオの聖母会
 発行者/和田ハツ江
 千葉県旭市野中4017
 Tel (0479) 60-0600
 ホームページアドレス
<http://www.rosario.jp>
 Eメールアドレス
 honbu @ rosario.jp

研修をすること

研修課長

伊藤 幸子

それは「自らの職業人としての哲学をもつこと」

「研修」するとは「学問・技能などを磨き習得すること。特に職務に対する理解を深め習熟するために学習すること」(大辞林・三省堂)と辞書には説明されています。

8年前(平成13年)師長・主任・副主任研修を主催するにあたり、研修についての考え方を書いたものがあり、それをふまえて、ロザリオの聖母会の研修を担当してきました。8年の研修を振り返りながら、研修についての基本的な考え方を軸として私見を述べさせていただきます。

就職内定者事前研修において、細読専務理事がどの年度の人達にも話す事項があります。それは、学ぶということの意味です。「学ぶ」ということは、自分の考えをもつこと(自分の哲学をもつこと)ということとです。その言葉は、私の研修の原点とも一致します。私は、人と関わる仕事をする人の研修は、「自分自身を知ること」「人と関わりながら、そこにある自分を知ること」を大切に、支援する者

の哲学、理念を作り上げていくことだと信じています。もちろん自分の職務についての、知識と技術を正確に体得していることが前提になります。

私の研修の軸となっている基本的な考え方として、以下の4つがあります。

1、研修は自らがするものであること。

学校を卒業して初めて職場に臨んだ新人は、学校と現場とのギャップにとまどいます。現場は学校とは違いますから、教科書とおりにはいきません。そんな時、疑問を持つこと、「おやつ」と思う感性を鍛えること、それは専門的な知識に裏付けられた観察力に他なりません。そして、疑問はそのままにせず解明する努力をすることが大切です。年度別研修のケーススタディのレポートなどに、「自傷行為や服薬みなどの行動が『心が安定する』ことで減少するということが解った」というものがありました。これは地道な支援によって導

きだされた結果です。

2、毎日の職場が研修の場であること

基本的な支援技術は毎日の業務の中から磨かれていきます。利用者の方々とのコミュニケーションも毎日の関わりの中から、一人ひとりの個性を発見して、関わり方を工夫しながら、良い関係を築いてゆけるものです。支援者としての自分を映し出してくれるのも職場です。自分の目標とする先輩を見つけるのも職場です。いろいろな意見を言ってくれるのも、利用者であり、同僚です。職場は自分を育ててくれる研修道場であると思えます。

3、研修の一番の教師は利用者である。

人工透析を受けていた友が「シャントに針を刺すのが下手な人が来た時は、眠った振りをするの」と言っていました。看護師は技術を磨いて上達しなければいけないなと思ったものでした。

年度別研修のケーススタディで一人の利用者をとりあげて、その方にその人らしい日々が送れるようにと、いろいろ工夫しながら3年間研修している方がいます。「車

椅子に乗ったAさんがもう少し行動範囲を広げられたら、施設の外へ出られるようになったらと、電動車椅子にした。ところが、行動範囲は広がったが使わなくなった腕の力が落ちてしまった。それだけでなく自分の力を使わなくなったので太ってしまった。そこで栄養科、医務課と連携して、カロリー制限やリハビリを実施する。また電動車椅子に乗る時間を制限して腕力を高めると同時にカロリー消費量も増やすようにした。結果、腕力もついてきて生活範囲も広がった。このように良い結果だけでなく、負の結果も見逃さず支援してゆくには、利用者さんから学ばなければなりません。

4、知識、技術、態度（こころ）が調和していること。

①ライセンスを持って仕事をする人は、その職能団体に加入することが望ましいです。たとえば、看護師であれば看護協会など。②専門雑誌の購読も大切です。専門雑誌は、その専門の一番新しい知識が得られます。③心の支えになる書物、先輩、友人がありますか？利用者の方々は、私達の人間性を信じて支援をさせて下さっています。

ます。その為には、自分を鍛えることが大切です。知識と技術は態度（心）に支えられた正三角形の形が望ましいです。それがその人のビジョンとなって育ってゆくと信じてます。

これまで施設内の研修に限って書いてきましたが、施設外部の研修について少し述べるならば、外部で研修を受けてきたら、施設内でその成果を実践して示すことだと思います。

実践するための工夫もまた研修に他なりません。日常業務に生かされない研修は、研修を受けなかったと同じだと思います。

最後に、私は働くということとは、学び続けるということだと思っています。自らの働く意味、ビジョンを育て続けることでもあります。自分にとって「支援とは」「看護とは」・・・を紡いでゆくことだと考えます。ロザリオの聖母会の職員の一入ひとりの学ぶ力が利用者さんを支える大きな力となることを信じて、これからも研修の一端を担ってゆければと思います。研修について私見を述べてみました。皆さんのご意見をお聞かせ下さい。

平成21年度事業計画について

事務局長 野口 厚司

サブプライムローン破綻を端緒としたアメリカ発の金融不安が世界金融危機、世界同時不況を招き、世界有数の大企業が政府の公的援助を受けて経営危機をしのぐという光景を目の当たりにして、私たちは、経済という社会の土台がマネーゲームと称する過剰な金融投資によってもろくも崩壊することを知りました。

国内に目を向けても、トヨタ自動車を始めとする大企業が次々に生産を縮小して不況対策を図る影で、大量の「派遣切り」によって住む場所も失った派遣労働者たちが、ボランティアの手による年越し派遣村で正月を迎えるという前代未聞の事態に至りました。

このような現実には、グローバルを旗印にした極端な経済優先の考え方、あるいは経済成長を前提にした社会のあり方は、究極には私たち一人ひとりの幸せには結びつかないのではないかと疑問を抱かせる結果となりました。

この疑問を深めていくと、今の

時代が、人間やお金を商品のように扱う社会から、障害のある人もない人も誰もが、かけがえのない存在として尊重される社会へパラダイム転換を図る好機であることに気づきます。

私たちが、現実から目をそらさずに、また、製造業から福祉事業へ転職する派遣労働者の姿をおして時代認識を深めるなら、このような時代だからこそ福祉事業の意味と存在が社会にとって希望の光となる可能性を持つ、という考えに帰結しても不思議はないと思います。

このような社会環境の中、平成20年度は障害者自立支援法施行後3年目に当たり、付則に定められた制度の見直しを検討することを目的として、厚生労働省社会保障審議会障害者部会では抜本の見直しに向けて、半年間、合計19回に渡る議論が繰り広げられました。この部会には堂本千葉県知事が全国知事会を代表して参加した関係

で、ロザリオの聖母会では2回に渡って発言資料を上申するなど新法による利用者の窮状や事業者としての立場を訴える機会を持ちました。その後、12月16日に提出された部会の最終報告書は、制度見直しの指針となる性格を持つものでしたが、その中身は、利用者にとっての応益負担から応能負担へ、事業者にとっての日額制から月額制へ、という要望が届かなかった一点をとっても不十分な内容と言わざるを得ないものでした。

とはいえ現実問題として迎える21年度に対してロザリオの聖母会は、先の社会・経済情勢を踏まえつつ、また具体的には法改正や報酬改定内容を精査して自らの足を踏み固めつつ、安定した経営とサービス提供を維持していく責任があります。22カ所の事業計画から積算して2600人を超える利用者で500人を超える職員を擁するロザリオの聖母会の事業経営の本質は、つまるところこの人たちに對する責任にほかなりません。そのことのために、今年も下記の法人三目標を設定して、施設、部署、個人が統一した目的をもって

業務に取り組みます。加えて、今年度の特徴としては、8月に全法人で計画の中間見直しを予定していること、また、予算面では収入予算を定員100%で設定したこと、が挙げられます。

【重点目標】

1 障害者自立支援法改正の内容を精査しつつ、施設運営の充実とサービスの質向上に努める。

この目標では、施設運営の側面

からは、障害者自立支援法改正内容を精査することを通じて新体系移行の検討や展望を現実的に行うこと、また、報酬単価改定を背景にした職員の労働環境改善や安定的確保、大規模法人の優位性を生かした施設横断的、流動性ある人事などが挙げられます。

サービスの質向上の側面では、前年度から積み残している個別支援プログラムの見直しと内容の充実が最も重要な位置を占めます。その他、利用者アンケート調査等を通して課題の発見と改善はサービスの質向上には欠かせない目標として挙げられます。

2 人事考課や研修をとおして、職員の育成と意欲向上を図る。

この目標は、前年度から継続した形になっています。

人事考課制度を導入して3年が経過しました。この間、真に客観的考課が行われたかどうか、改めて考課者一人ひとりが自らに問いかけることが必要と考えます。

また、運用面では課業一覧表の見直しや考課者研修が具体的課題になります。

同時に、現在行われている研修の充実とともに、急がれる中間管理職の育成や職員のメンタルヘルスに向けた対策等が含まれます。

3 新型インフルエンザ対策など法人の総合的な安全衛生対策の向上を図る。

近い将来大流行が予想される新型インフルエンザに対しては、20年度数々の取り組みを行ってきたところですが、今年度は備蓄品の見直し、防疫訓練の充実等積み残した課題の達成に向けてなお一層の努力が求められています。また、相変わらず利用者の事故、車両事

故の発生件数が減少しない現状を踏まえると、より効果的な対策立案と不断の取り組みが重要になります。これらの活動には21年1月に発足した「総合安全対策委員会」が施設横断的な課題に主体的に取り組みます。

以上の目標を盛り込んだ21年度事業計画は、むこう一年間私たちが指針となるものです。職員各自が身近なところに置いて、日常的に達成度を評価するなど有効に活用しましょう。

寄付者御芳名

平成20年12月22日
平成21年3月18日

長 岐 淑 朗	宇奈加美三千年ノ館 資料館
白百合幼稚園	あざみ会
畠山 アイ子	千葉 ふみ
小 宮 和 彦	下河邊 宜 子
カトリック西千葉教会	聖心会ヴィラ不二
◆ ◆ ◆	日本原子力発電関連
旭ロータリークラブ	企業労働組合総連合
佐々木 日出男	リサイクルサロン
加 藤 幸 子	ばら乃園
野 口 厚 司	聖心会裾野修現院
高 野 丈 夫	糸川澄子
小 島 昭 三	日吉小学校
◆ ◆ ◆	高 田 江 里
佐々木 日出男	
中 川 知 子	
(株)ドーシス	(敬称略)



危機管理ってむずかしい！

海上療養所 医局長 佐多 範洋

「ロザリオの聖母会」が新型インフルエンザ対策にとりくみ始めて、1年が経過しました。多くの職員が熱心にとりくんで下さったおかげで、たくさんの方の対策が進みましたが、それでもまだまだ不十分なところが多いとひしひしと感じます。

対策をおこなっていて痛感するのが、「危機管理のむずかしさ」です。どうしてむずかしいかという点、危機管理とは普段の生活で必要性を感じないことに備えることだからです。定額給付金をもらって、新しい炊飯ジャーや液晶テレビを買おうと考える人は少なくないでしょうが、火災報知機や消火器を買う余裕やと思う人は少数派です。炊飯ジャーや液晶テレビを買えば、毎日おいしいごはんが食べられたり迫力のある番組を見たりすることができますが、火災報知機は火事がなければ全く恩恵を感じないので、どうしても優先度が低くなってしまいがちで

す。

さらには火災報知機は家のどこに、いくつ置けばいいんだろうなどと考え出すと、だんだん気がめいってきいてしまいます。危機管理というのは起こってもいけないことを詳細に想像しないとできないので、とても労力がいるのです。さらにあとづけ型の火災報知機だと、定期的に電池が切れていないかチェックをする必要があります。「一度買いそろえたら終わり」というわけにいかないのも、危機管理のむずかしさのところですね。ああ誰か「危機なんてこないよ」と言ってくれば楽なのに。そんな心境になってきます。

阪神・淡路大震災では数千人の人が命を落としました。震災を経験した方が、「これまで地震対策については耳にしてきましたが、まさか自分たちが経験するとは思いませんでした。何の準備もしていませんでした」と書いたのを読ん

だことがあります。こういう震災の経験から、本当に必要な対策や備蓄品についてまとめられた本がたくさんあります。そこには「もう二度と同じ苦しみを誰にも体験してほしくない」という切実な思いが詰まっています。でも、そういうものを読んできちんと地震対策をしていく家庭や企業はいったいどれだけあるでしょうか。悲しいことにほとんどの人が「これまでに地震対策については耳にしましたが、まさか自分たちが経験するとは思いませんでした。何の準備もしていませんでした」をくり返しているのです。

90年前にスペインかぜが流行したときは、前ぶれもなくおこり、何かわからないうちに多くの人のいのちを奪いました。その後の科学の進歩でそれはあたらしい種類のインフルエンザウイルスによってもたらされた伝染病であったことが判明しました。今では近いうちに別のあたらしい種類のインフルエンザが流行することが予測できるまでになっています。それなのに、わたしたちは90年前とおなじように、何のそなえもしないま

ま生活しているのです。90年間の科学の進歩とはいったい何だったのかと、悲しい気持ちになります。どんなにりっぱな火の見やぐらを作ったとしても、警鐘に耳をかたむける人がいなければ火の見やぐらの意味がありませんし、犠牲になる人も減ることはないのです。

歴史をひも解くと、国も老舗も長く続いているものは強くて大きなところではなく、危機にきちんと対応できたところですね。炊飯ジャーも液晶テレビも、災害にあつたら一瞬でなくなってしまう。ひよつとしたら、わたしたちの一生を本当に豊かにするのは危機管理なのかもしれません。新型インフルエンザ対策は大変むずかしく、面倒くさいものです。それでもあなたの時間と意識をほんの少しだけ、新型インフルエンザ対策のために割いて頂きたいと思うのです。

プロフィール

東京大学医学部卒業。群馬県立精神医療センター勤務、東大精神神経科助手を経、現在海上療養所に勤務。精神科医。



海上寮新任医師挨拶

海上寮療養所 副院長 上野 秀樹

平成21年4月1日付で海上寮療養所副院長を命ぜられた上野秀樹と申します。

もともと東京の三鷹市で生まれ、埼玉県に長く住んでおりました。平成4年に大学を卒業して精神科医師となり、今年で18年目になります。東京都立松沢病院に6年間勤務したのち、東京大学の専門職大学院を経て静岡刑務所医務部に勤務しております。平成20年9月に縁あって海上寮にお誘いだき、11月1日より勤務させていただきます。

数年前より田舎暮らしにあらがれて、飼っていた犬猫を連れて、東京都世田谷区から千葉県茂原市に移り住み、ようやく千葉県人になりつつあった私でしたが、海上寮勤務のお誘いをいただいたときは、正直言って旭市がどこにあるのかも知りませんでした。見学にお伺いして、茂原市から距離はあるものの、時間的にはそれほどかからないことがわかり、また、病院の雰囲気もよかったので転職を

決めました。

それから早いもので5ヶ月間がたちましたが、いろいろなことがありましたが、海上寮の自然に囲まれた、のんびりとした雰囲気、患者さんの自己決定権を最大限尊重した精神科医療の提供、私の選択は間違っていないと確信しています。

今回、副院長を命ぜられ、その重責に身が引き締まる思いですが、海上寮の良き伝統をいかし、地域に根ざした精神科医療、患者さんのための精神科医療の提供をしていきたいと思えます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

スプリングコンサート

私は、平成20年2月1日付で法人採用となり、「みんなの家」に平成20年2月1日より勤務しています。法人にお世話になる前は、銚子市内の醸造関係の会社に30年数間勤務し、福祉関係とは、全然別の世界の仕事をしていました。

今回、約8ヶ月の間、「中央福祉学院」の施設長資格認定講習の通信教育を受講し、又「みんなの家」の外勤班、喫茶班、製パン班、たんぼ班、東総障害者就業・生活支援センターの実習をし終え、感謝の気持ちでいっぱいです。さてこれから「みんなの家」の施設長として業務にあたるわけですが、職員の皆様、利用者の皆様とともに、仲良く、明るく、元気良く、仕事が出できれば幸せです。

3月31日（火）今年で第6回を迎える千葉県立銚子商業学校吹奏楽学部による「スプリングコンサート」が開催されました。春の訪れとともに開催されるコンサートを、毎年心待ちにしています。体育館に響く演奏に笑顔の花が咲きほころび、楽しいひとときを過ごすことができました。



顧問の井出先生をはじめ部員の方々に心より感謝とお礼を申しあげます。何分にも、素人です。今後とも、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



みんなの家新所長挨拶

みんなの家所長 中津 恵吉

皆様の「寄付」に感謝いたします

「平成20年度NHK歳末たすけあい義援金より物品贈呈」(聖マリア園)

平成20年度NHK歳末たすけあい義援金より加湿空気清浄機3台、バイオ抗体フィルター3台分とモルテンイージーモーション(スライドボード)をいただきました。

加湿空気清浄機は、入居者が集まる所にそれぞれ設置し、加湿もでき、空気を入れ換えもできるので、入居者と職員ともどもとても助かっております。

モルテンイージーモーションを使用する前は、入居者、介助者共、負担が掛かる移乗介助をしていましたが、モルテンイージーモーションを使用してから、



加湿空気清浄機



モルテンイージーモーション

両者共に楽に移乗介助できるようになりました。

これからも入居者のために、大切に使用させていただきます。

「赤い羽根募金」(聖家族園)

この度千葉県共同募金会より、平成20年度NHK歳末たすけあい義援金の配分を受け、37型のテレビ、ビデオカメラを購入しました。

余暇活動での映画鑑賞や作業風景の撮影などに利用させていただいております。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



デジタルカメラ

「千葉県共同募金会より寄付」

みんなの家 事務主任 田村恵美 みんなの家では「NHK歳末たすけあい義援金」より助成を受け、

左記の物品を購入いたしました。「リンナイ炊飯器・IH炊飯ジャー・蒸し器・ミニスライサー」食事のメニューの幅が広がり、今まで以上に美味しい昼食を提供できるようになると期待しています。



ミニスライサー

「(財)中央競馬馬主社会福祉財団様及び、HNK歳末助け合い基金様より助成」(聖家族作業所)

聖家族作業所では平成21年1月22日に(財)中央競馬馬主社会福祉財団様より助成を受け、日産キャラバン(白)を、平成21年3月18日にNHK歳末

助け合い基金様より助成を受け、日産キャラバン(シルバーパンシルバー)を整備することができました。待ちに待つ



日産キャラバン(白)

た新車は、利用者の皆様から大変ご好評を得ており、主に送迎や外出等で有意義に使用させていただきます。本当にありがとうございます。

「NTT通信レスキューバイク隊よりテレビ寄贈」

みんなの家 事務主任 田村恵美 NTT通信レスキューバイク隊隊員の皆様より、「46型液晶テレビ」をいただきました。平成19年に初めて「合同災害訓練」を実施し、その御縁により今回「みんなの家の利用者さんの余暇に使用してください」と、寄贈して下さいました。(バイク隊とは、大規模災害が発生した際、通信設備の被災状況等の情報収集や安否確認等を実施するため、平成8年5月に発足)利用者の休憩時間に、大活躍し

そうな予感です。隊員のみなさまの御厚意に、心より感謝申し上げます。



46型液晶テレビ

聖家族作業所

みんなの家

聖マリア園

聖母療育園



支援員

大木 寛之
以前は引越し屋さんで仕事をされていたという大木さん。その持ち前のパワーを生かし、作業所では早くも頼りがいのある存在です。今後の活躍に期待します。



支援員

石井 幸一
入所更生施設に13年。そのキャリアを活かして頑張ってもらいたいですね。趣味は釣り・ドライブだそうです。



支援員

家田 光枝
仕事にまじめで、笑顔が素敵な方です。今後の活躍を期待しています。



看護師

鈴木 真紀
身長170cm元気で素直でやさしい聖母療育園にびったりの人です。本人も聖母が早くも大好きになったようです。その笑顔で利用者を明るくしてくれることでしょう。



看護師

遠藤 久美子
4人のお子さんが居るとは思えないほど、若々しい看護師さんです。以前聖母に勤めていたので利用者さんの名前もすぐ覚え頼もしいです。気力・体力・若さで頑張ってください。

新任者紹介

海上療養所



調理師

石田 舞子
おいしい食事を作る一員としてこれからがんばっていきたいと思います。よろしくお願いします。



臨床心理士

矢崎 大
海上療養所で働くことになりました。心理士の矢崎です。どうぞよろしくお願いします。



作業療法士

伊菅 智美
南房総から来ました。海が近く自然豊かなこの場所はとても素敵ですね。よろしくお願いします。



ケースワーカー

高橋 寛
生まれ育ちも大学も札幌の高橋です。少しでも役に立つことができれば嬉しいです。色々教えてください。

今年度の新入職員



支援員

関 君 恵
今年1月に入職され、作業所の新メンバーとして日々努力されています。とてもユーモアに溢れる方で、仕事もテキパキとこなしてくれる心強い存在です。

聖マリアデイサービスセンター

聖マリア園

聖母療育園



支援員

古家 悦郎
趣味は、フットサル、ボウリング、マラソン、旅行、映画鑑賞などです。好きな食べ物は何もありません。よろしくお願いします。



支援員

中村 彩乃
私は韓国ドラマが大好きです。こんな私ですが、笑顔で元気に頑張りますので、よろしくをお願いします。



支援員

越川 恵美
初めまして！4月からお世話になる越川です。一生懸命頑張るので、よろしくをお願いします。



看護師

鴨井 真弓
4月よりお世話になっていきます。利用者さんの笑顔に助けられています。看護師25年は自信があります。よろしくをお願いします。



看護師

横尾 ゆみ
4月からお世話になります。趣味はマラソン、特技は手ぬき家事。双子のママです。ぜひこの顔をみたら話かけてください！



看護師

宮本 尚子
元気いっぱい、力持ちの宮本です。トレッドマークはタワシの様なショートカットです。

佐原聖家族園



支援員

鈴木 祐美子
笑顔絶やさず、常に向上心を持ち、日々成長していきたいと思えます。よろしくをお願いします。

新第三者委員の紹介

評議員

元・旭二中校長

服部 紘一

元・銚子保健所課長

向後 恵子

お悔やみ

本会評議員であった織田博さんが、2月15日に逝去されました。

本会第三者委員であった赤坂守保さんが、3月6日の朝、死去されました。

慎んでお悔やみを申し上げます。

行事予定

- 21. 4. 1 辞令交付式
- 3 経営会議
- 6 法人春の交通安全週間
- 8 総合安全対策委員会
- 10 経営会議
- 17 法人運営会議、経営会議
- 5. 1 経営会議
- 8 経営会議
- 13 総合安全対策委員会、研修委員会
- 15 法人運営会議、経営会議
- 22 第140回理事会、第29回評議員会
- 6. 3 総合安全対策委員会
- 5 経営会議
- 12 経営会議
- 13 交通安全講習会
- 19 法人運営会議、経営会議
- 20 後援会役員会、
ロザリオ福祉まつり実行委員会
- 7. 1 総合安全対策委員会
- 3 経営会議
- 4 平成22年度就職説明会

80%主義

医療や福祉の世界ではよく「燃え尽き症候群」ということが話題になる。一生懸命に努力する人々がそのような状態になるので、いつも深刻である。

我々は繰り返し主張しているように、社会や組織は不完全であり、最後まで完全にはなりえないこと。そしてそれは一人ひとりの人間にとっても同じことであり、決して完全な人間は一人もおらず、誰一人完全な人間にはなりえないこと。それでも我々は誰でも幸福になれること。

専用メールアドレスのお知らせ

ご意見、ご感想のある方は下記のアドレスまでお願いします。

koho@rosario.jp

ボランティア募集のお知らせ

ロザリオの聖母会では、施設行事のために常時ボランティアを必要としています。

関心のある方は是非、ご連絡ください。ご協力をお願いします。

問い合わせ

TEL 0479(60)0600

(担当 仲條)

看護職員募集のお知らせ

精神科、障害児者医療に携わる看護師を募集しています。

◆随時面接を行っておりますので、

本部総務課までご連絡ください

TEL 0479(60)0600

(担当 採用係)

編集後記

▼今年も大勢の新任職員が入ってきました。百年に一度の逆境の時期ですが、がんばってもらいたいものです。

(ま)

精神科・内科(医療保護施設)

海上療養所

精神障害者通所授産施設

ワークセンター

地域生活支援センター

友の会

重症心身障害児施設

聖母療育園

重症心身障害児通園施設

聖母通園センター

障害児デイサービス

ふたば保育園

身体障害者療護施設

聖マリア

生活介護事業所

聖マリアデイサービスセンター

知的障害者更生施設

聖家族施設

知的障害者通所授産施設

みん家の家園

障害者就業・生活支援センター

東総障害者就業・生活支援センター

生活介護事業所

聖家族作業所

高齢者支援事業

ロザリオ高齢者支援センター

ロザリオ訪問介護事業所

中核地域生活支援センター

海匠ネットワーク

旭市相談支援事業

旭障害者支援センター